

みなでおさらいCOAR2025 第3回
(第20回機関リポジトリの次の一手を考える)
「一発でまるわかり、世界のオープンアクセスの状況」

COAR Annual Conference 2025 Day2

「Top trends for Open Science around the world」

ダイジェスト



EU ラテンアメリカ インド チェコ
トルコ 韓国 オーストラリア フランス

令和7年9月24日（水）10:00-10:45
JPCOAR国際連携対応タスクフォース
電気通信大学学術情報課情報受入係 上野耕平

EU

• 新たな法的枠組み

• 二次出版権 (SPR)

- 研究者およびその所属機関が、公的資金による研究成果を、最初にどこで出版されたかにかかわらず、自由にアクセス可能なオンラインリポジトリで直ちに再出版することを可能にする権利／義務 →EU内で先行して法整備された国への協調を目指す

• 欧州AI規制法 (EU AI Act)

- 研究および研究機関には例外があり、特に透明性やデータセキュリティの点でリポジトリが関与する可能性がある

• 研究評価/研究情報

- CoARAの活動による成果物が、リポジトリに新たな役割を与えるのではないか

• IMPACT Repo

- リポジトリの強化・価値向上を目指すアクションプラン
- 相互運用性、保守性、AI駆動、(研究ポリシーとの) 整合性、接続性、(専門スキルの) 訓練、(システムとしての) 安定性・柔軟性

• SPR : Secondary Publishing Right
• CoARA : Coalition for Advancing Research Assessment 研究評価改革の推進のための有志連合
• IMPACT Repo : Interoperable、Maintainable、Powered by AI、Aligned with research policy、Connected、Training、Resilientの頭文字

EU

ラテンアメリカ

インド

チェコ

トルコ

韓国

オーストラリア

フランス

ラテンアメリカ

EU
ラテンアメリカ
インド
チェコ
トルコ
韓国
オーストラリア
フランス

- **リポジトリ環境アップグレード支援**
 - DSpace (地域シェア80%であり未更新の機関が多い) の更新支援
 - LYRASISによる3年間のプロジェクトで、ドキュメント作成・翻訳(西語/葡語)、直接支援チームの設置、DSpaceコードへの貢献等を実施
- **Usage statistics LA Referencia**
 - COUNTERとOpenAIREに対応したリポジトリの利用統計
 - 可視化とダッシュボード機能を持つ地域プラットフォーム
- **dARK (永続的識別子付与の分散型実装)**
 - 地域ではコストが要因で、DOI付与が課題 (コンテンツの約20%)
 - ブロックチェーン技術によりARK付与するソリューション
 - ブラジルで実装され地域に拡大中&アフリカとも連携
- **Open LLMによる発見可能性とメタデータの質の向上**
 - 特に翻訳 (英語でのリッチなメタデータ作成)

• LYRASIS : 世界の図書館、アーカイブ、博物館を支援する非営利団体
• LA Referencia : ラテンアメリカ12か国によるOSのためのネットワーク
• COUNTER : COUNTER metricsによって提供される、学術情報利用の国際的な指標
• OpenAIRE : 欧州の研究基盤を開発、提供する非営利団体
• ARK : Archival Resource Keys

インド

- **National Digital Library of India (NDLI)**

- 教育省主導の中央リポジトリで書籍、論文、学位論文、動画等を収集
- 国内60のリポジトリをネットワーク化しており、今後はコミュニケーションプラットフォームに拡張予定

- **Shodhganga**

- INFLIBNETセンターが管理するインドの学位論文リポジトリ
- 重複防止と研究可視化を目的に、500以上の大学から60万件以上を収録

- **国内学術リポジトリに関するアンケート調査**

- リポジトリでの全文OAに懸念60% (論文の使われ方に不安) ⇔ ライセンス明記は23%

- **研究ネットワーク (SheRNI、IRINS)**

- **One Nation One Subscription (ONOS)**

- 政府のイニシアティブによる、EJ/DB購読の全国ライセンス契約
- 全30社13,000タイトル超のEJの全文アクセスを、6,500以上ある政府・高等教育機関に所属する学生・研究者 (約180万人) に提供

-
- INFLIBNETセンター：Information and Library Network Centre
 - SheRNI：She Research Network of India インドの女性の研究関係者ネットワーク
 - IRINS：Indian Research Information Network System 個人情報、出版情報、影響力、分析を含むデータワークフローと科学マップ

EU

ラテンアメリカ

インド

チェコ

トルコ

韓国

オーストラリア

フランス

チェコ

EU
ラテンアメリカ
インド
チェコ
トルコ
韓国
オーストラリア
フランス

• 国立リポジトリプラットフォーム (NRP)

- 科学者に対して、FAIR原則に基づいたデータ管理に必要なツールと設備を提供し、十分なストレージと信頼性の高いリポジトリを用意する目的
- EOSC CZの一環で2024年に着手
- ハードウェア、ソフトウェア、ストレージを一体整備
容量50PB以上, 予算8500万ユーロ (140億円)、5か年計画
- 単なるリポジトリではなく、機能やサービスと一体のプラットフォーム
 - リポジトリからクラウドやスパコンにデータを送り、結果を受け取る機能
 - 顕微鏡などのデバイスから直接、メタデータと共にリポジトリに格納する機能

• Open Science II

- インフラであるNRPを活用するためのコミュニティ
- 計12のワーキンググループが設立され、30以上のリポジトリ構築を検討中

• NRP : National Repository Platform
• EOSC : European Open Science Cloud 欧州において科学研究のための「FAIRなデータとサービスのWeb」構築を目指すイニシアチブ
• EOSC CZ : Czech implementation of the European Open Science Cloud チェコにおいてEOCSを実装する取り組み

トルコ

- **DergiPark (国立のダイヤモンドOAホスティングサービス)**

- TUBITAK ULAKBIMが提供
- 無料で使用でき、DOIも付与できる。2024年時点で2,386誌が収録されている

- **aperta (国立のオープンデータリポジトリ)**

- TUBITAK ULAKBIMが管理
- TUBITAKから助成を受けたプロジェクトの出版物はapertaからOAにする必要がある

- **OAに関する取り組み**

- 高等教育評議会が大学に対し、機関リポジトリの設置と、機関リポジトリに関する年次報告書の提出を求めている
- DSpace7へのバージョンアップ支援 (約40%が更新済み)
- LYRASISへのDSpaceデータ収集・提出 (80機関)
- 国内の大学ランキングシステムでは、OA出版数が重要視されている

- **転換契約の推進**

- TUBITAKの事業であるEKUAL やコンソーシアムであるANKOSによる、国レベルでの転換契約
- WoSのデータでは、合わせて2021-2025の出版物の46.5%がOAになった

• TÜBİTAK : The Scientific and Technological Research Council of Türkiye トルコ科学技術研究評議会
• ULAKBİM : Turkish Academic Network and Information Center トルコ学術ネットワーク・情報センター (TÜBİTAK下の研究組織)
• YÖK : Council of Higher Education of the Republic of Turkey トルコ高等教育評議会
• EKUAL : National Academic License for Electronic Sources
• ANKOS : Anatolian University Libraries Consortium

EU
ラテンアメリカ
インド
チェコ
トルコ
韓国
オーストラリア
フランス

韓国

• オープンアクセス施策状況

- 政府によるOAポリシーはまだない
- ACOMS+ : KISTIによるダイヤモンドOA技術支援システム
- SAFE system : KISTIによるハゲタカジャーナル情報サービス
- Open Access Korea portal : KISTI開発、国立中央図書館運営のOA促進ポータル

• Research Data Act（研究データに関する新法案）

- 研究データ管理を個人・プロジェクト中心から研究開発機関主導へ移行
 - DMPの提出は義務付けられておらず、適用範囲も限定的で効果がない
 - プロジェクト単位=複数省庁をまたぐので、研究データの統合管理に必要
 - この統合に基づくAIデータエコシステムの構築

• UNESCO-KISTI共同プロジェクト

- 持続可能な開発のためのオープンサイエンスとソフトウェア遺産の発展
 - ダイヤモンドOAモデルに特化したOAポリシーの開発
 - オープンデータと責任あるデータガバナンス枠組みの推進
 - 「世界の記憶」プロジェクトにおけるソースコードのデジタル遺産としての認定

• KISTI : Korea Institute of Science and Technology Information 韓国科学技術情報研究院
• National Library of Korea 韓国国立中央図書館
• 世界の記憶：ユネスコが主催する、危機に瀕する歴史的記録物の保全や公開を目的とした事業

EU
ラテンアメリカ
インド
チェコ
トルコ
韓国
オーストラリア
フランス

オーストラリア

• 研究インフラに関する現状

- 国として大規模な研究インフラへの投資を行ってきた歴史があるが、リポジトリへの投資は長らくない（おそらくNRIのこと）
- 政府主導の中央リポジトリ、ダイヤモンド出版プラットフォームはなく、OAポリシーや権利保持に関するアプローチもない
 - 助成機関であるARCやNHMRCにはOAポリシーがある
- CAULは、コンテンツ調達/オープンアクセス出版契約とオープンナレッジの推進に焦点をおいているため、Gold OAは増加したがGreen OAは増加していない

• Advice on open access models

- 2024年に政府組織であるAustralia's Chief Scientistから公表された提言
 - <https://www.chiefscientist.gov.au/news-and-media/advice-open-access-models>
- CAULやOAAを含む70以上の関連組織との協議の末に作成された
- 「公共アクセスモデル」という国家レベルによる購読交渉が主軸になっており、権利保持や、リポジトリの強化については言及されなかった

• NRI : National Research Infrastructure Roadmap 前回は2021であり、現在2026の検討が進行中
• ARC : Australian Research Council オーストラリア研究評議会
• NHMRC : National Health and Medical Research Council 国立保健医療研究評議会
• CAUL : Council of Australasian University Librarians オーストラリア大学図書館協議会
• Open Access Australasia オーストラリアとニュージーランドのOA推進の会員組織

フランス

EU
ラテンアメリカ
インド
チェコ
トルコ
韓国
オーストラリア
フランス

- **Action Plan for Diamond OA (2022)**
 - ダイヤモンドOAジャーナルの性能を大幅に強化することが目的
 - Science Europe、cOAlition S、OPERAS、ANRがコミュニティと連携し、文化的・多言語的・学問的多様性を尊重して策定
 - 世界規模でコミュニティ連携させ、160以上の組織が支持を表明
- **European Diamond Capacity Hub (EDCH) (2025)**
 - 欧州の機関・国家・分野別ダイヤモンドOAセンター、ダイヤモンド出版社・サービスプロバイダーへの支援による、欧州のダイヤモンドOAコミュニティの強化が目的
- **A NATIONAL Platform for sharing research data**
 - 研究データの公開と共有のためのエコシステム
 - 論文、データ、研究ソフトウェアの連携に焦点
 - HALへのソフトウェアの登録、HAL論文ページでの関連データレビュー、HALとデータリポジトリ間でのリレーションシップの転送

• Science Europe：科学欧州連合
• OPEEAS：Open Scholarly communication in the European Research Area for social sciences and humanities
欧州における人文社会科学分野のオープンな学術コミュニケーションを支援する研究インフラ
• ANR：the French National Research Agency フランス国立研究機関
• HAL：Hyper articles en ligne 学際的なフランス国立のオープンアーカイブ

参考資料

各発表資料

Part 1 動画

Part 2 動画

- Presentations from the COAR Annual Conference 2025. <https://coar-repositories.org/news-updates/coar-annual-conference-2025>
- 【Day2】 「Top trends for Open Science around the world [Part 1]」 COAR Annual Conference 2025. <https://www.youtube.com/watch?v=7tYiq1HJrQ8>
- 【Day2】 「Top trends for Open Science around the world [Part 2]」 COAR Annual Conference 2025. <https://www.youtube.com/watch?v=8MIKZ0CkBo8>

(いずれも参照 2025-9-8)